



あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

モユク★カムイ

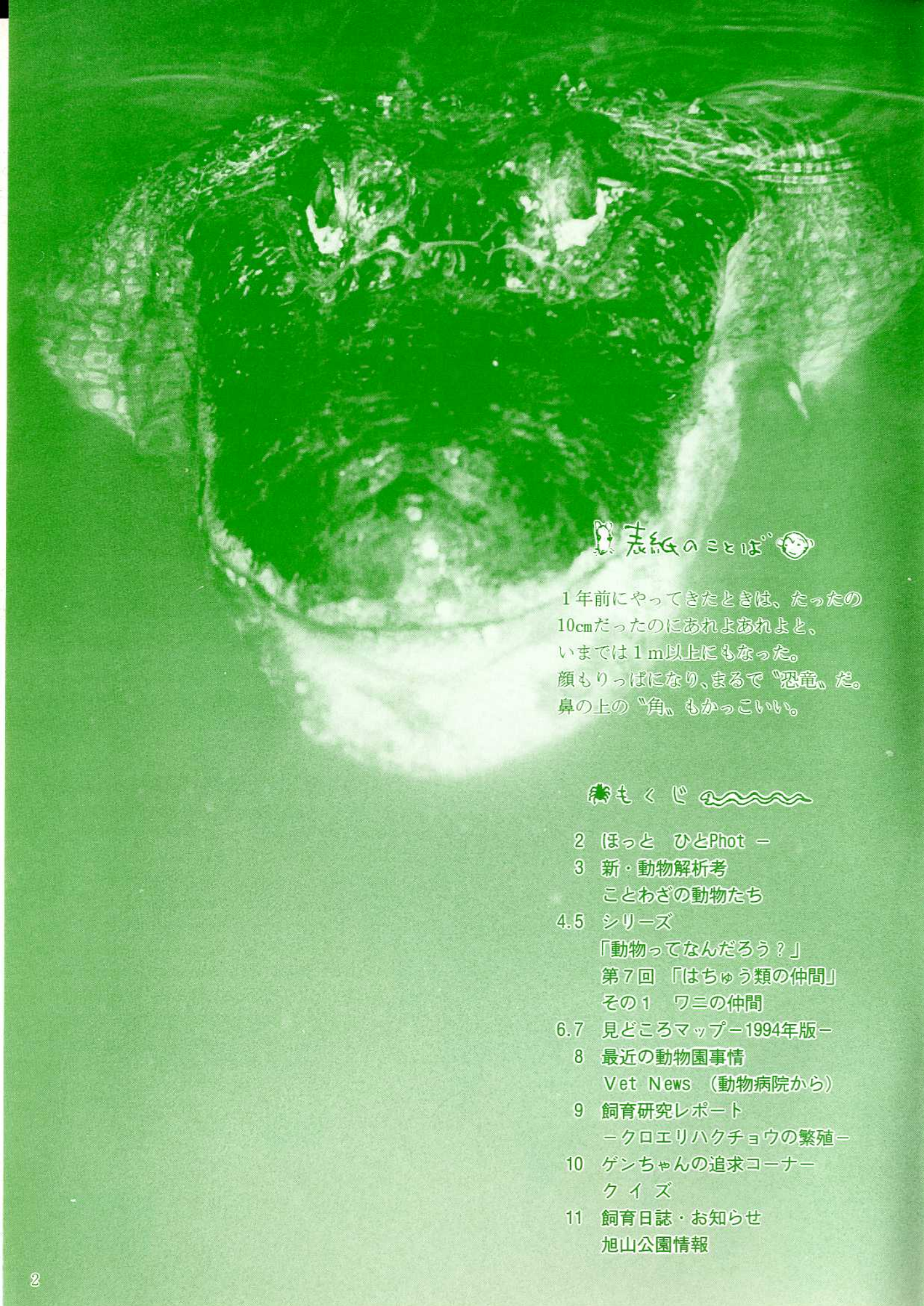
☆モユク・カムイとはアイヌ語で
「エゾタヌキ」のことです。



グリーンイグアナ
Iguana iguana

NO.

36 APRIL
1994

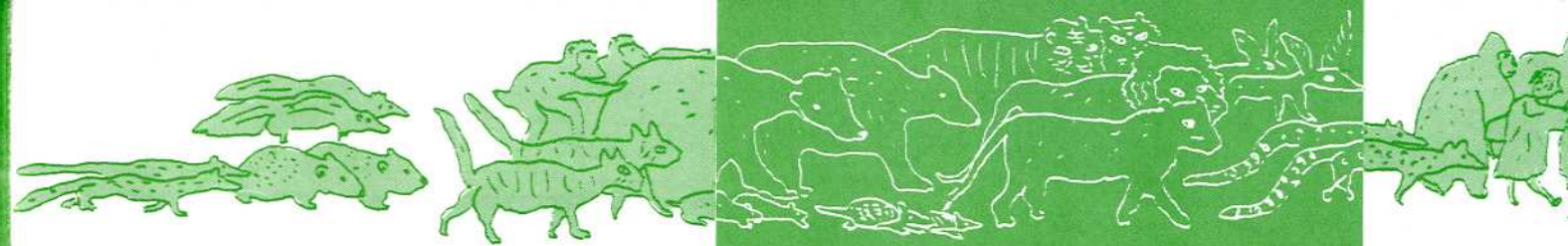


表紙のこぼれ話

1年前にやってきたときは、たったの10cmだったのにあれよあれよと、いまでは1m以上にもなった。顔もりっぱになり、まるで「恐竜」だ。鼻の上の「角」もかっこいい。

目次

- 2 ほっとひとPhot -
- 3 新・動物解析考
ことわざの動物たち
- 4.5 シリーズ
「動物ってなんだろう？」
第7回 「はちゅう類の仲間」
その1 ワニの仲間
- 6.7 見どころマップ-1994年版-
- 8 最近の動物園事情
Vet News (動物病院から)
- 9 飼育研究レポート
-クロエリハクチョウの繁殖-
- 10 ゲンちゃんの追求コーナー
クイズ
- 11 飼育日誌・お知らせ
旭山公園情報



新・どうぶつ解析考

ことわざ

故事やことわざにはいろいろな動物が登場してきます。

特に人の生活場所の近くで生活する動物が多いのは当然ですが、昔の人の観察眼の鋭さにはいつもながら感心させられます。

今年の動物解説シリーズは爬虫類ですので、第1回目の今回はヘビにまつわる「ことわざ」について考えます

○蛇の道は蛇

われわれにはよく分からないヘビの通り道もヘビならよく知っている

ということで、仲間内のすることは仲間にはよく分かるという意味だが、どちらかというと

“いけない道”に使われているのがヘビらしいところか。

良い道には「餅は餅屋」が使われるようだ。

○蛇足

ヘビの絵を描く競争をしているとき、最初に描き上がった男が調子に乗ってヘビに足を描いてしまい、失格となってしまった

ことから、「無駄」というよりも「しなくてもいいことをしてしまった」ときに使われる。

いずれにしても、あまりいいことではない。それにしてもヘビを知らずにヘビを描くな、と言いたい

出典は「戦国策 齊上」

○蛇は寸にして人を呑む

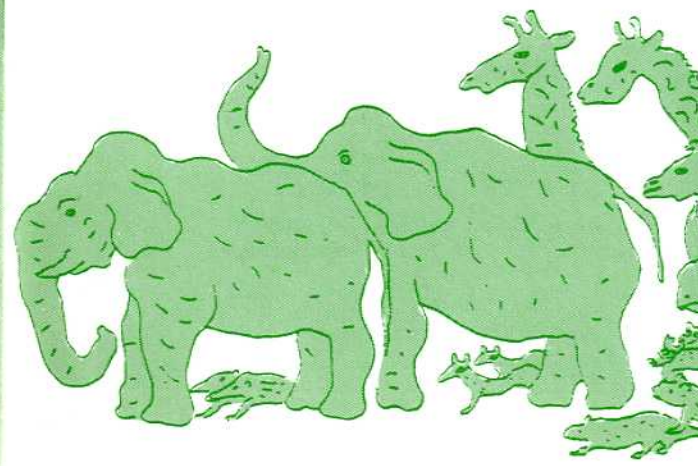
大蛇は1寸くらいの小さい頃から、すでに人を呑み込む気概があるように、英雄も子どもの頃から、他を威圧する風格がある。

ヘビといっても大蛇くらいになると、恐ろしさが畏敬の念に変わってくるらしい。

嫌われもののヘビですが、よく見ると素敵な生きものです。

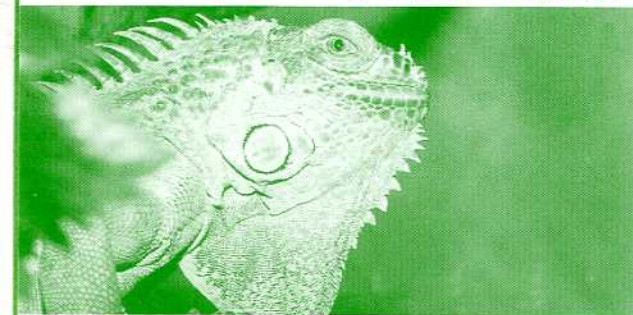
恐ろしさや気味の悪さは「よく知らない」ことから生じます。

爬虫舎でじっくりトカゲやヘビとにらめっこしてみてください。





ニューギニアヘビクビガメ



グリーンイグアナ



ポールニシキヘビ



ミシシッピーワニ

動物ってなんだろう？

第7回「爬虫類」

その1 ワニの仲間

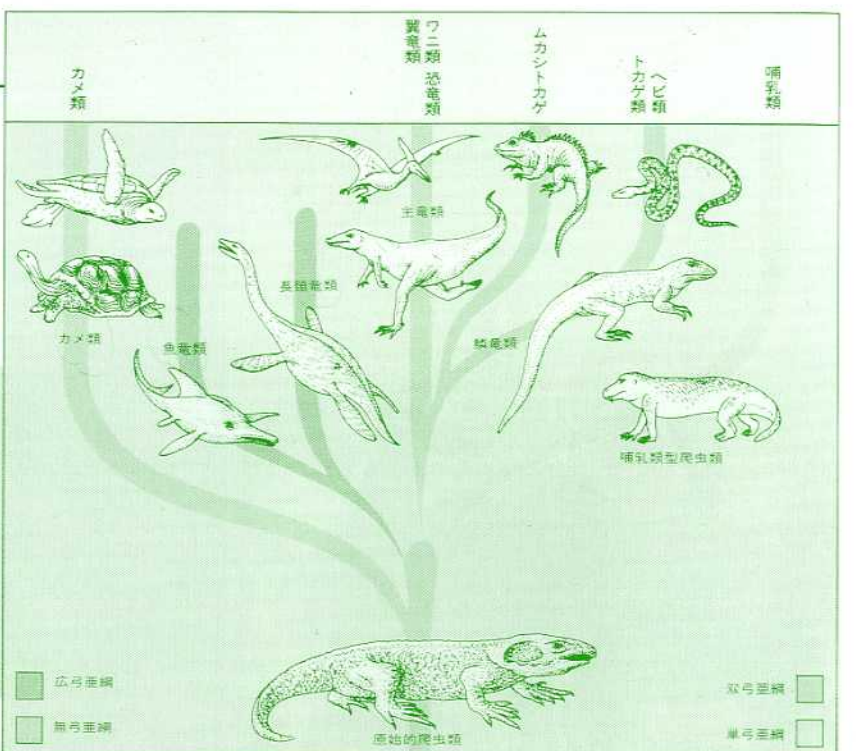
ワニの仲間は、中世代に栄えた恐竜と同じ大型爬虫類の生き残りです。ワニの仲間が最も栄えていたのは、恐竜時代だったのです。現在ワニの仲間は8属22種で、すべて水生、半水生で肉食です。

爬虫類ってなに？

カエルやイモリは両生類、恐竜は爬虫類の仲間、爬虫類ってどんな動物？

- 「背骨」を持っています。……脊椎動物
- 「熱」は体外から受けている…変温動物
- 「空気」を吸っています……肺呼吸
- 「うろこ」を持っています……魚のように1枚1枚はがれません
- 「殻つき」の卵を産みます……おなかの中で赤ちゃんまで育てるものもある

この5つに当てはまるのが爬虫類です。現在では、カメ、トカゲ、ヘビ、ワニ、ムカシトカゲの5グループ、6547種が生息しています。



動物大百科(平凡社)より

ワニの仲間



オレは由緒正しい恐竜の親戚だ！
ワニの仲間はあの恐竜と同じグループに属しています。恐竜は絶滅したけれども、ワニの仲間は、その外見や生態をほとんど変える事なく、現在に至っています。彼らがなぜ絶滅しなかったのかは現在でも定説がなく、謎です。彼らは、その生息環境では、生態的に支配的な地位にいて、十分に繁栄しています。彼らを脅かすのは人類の開発、乱獲だけです。

ワニの分類

アリゲーター類:
口を閉じたとき下顎の4番目の歯が見えない。 4属 7種

クロコダイル類:
口を閉じたとき下顎の4番目の歯が見える。 4属 15種

ガビアル: 口(吻)が細長い。 1属 1種

ミシシッピーワニ

学名 *Alligator mississippiensis*
英名 American alligator

旭山動物園では昭和42年から3頭を飼育している。記録では100才まで生きた記録がある。

目と鼻 だけを水面に出し獲物を待ち伏せ

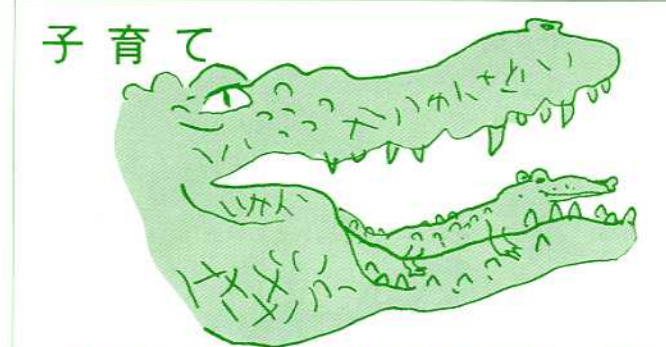
強力な尾 獲物を叩いたり泳ぐときに使う

手 みずか 水掻きは小さい



歯 えんすいけい 円錐形で何回でも生え換わる。噛み切ると言うよりは、強力的な顎で砕く。

足 水掻きが発達している



子育て

卵がかえるまで卵を守る爬虫類は他にもいますが、子供を守り育てるのはワニだけです。卵からでてきたコドモは、勝手に巣から出て歩き回ったりせず、騒がしく鳴いて、母親がくるのを待ちます。上手に殻から出れないコドモは、母親が殻を割ってあげます。時には父親がすることもあります。親はコドモを流れの淀んだ河まで運びます。危険が迫ると口の中に入れて、1年近くコドモの面倒を見ます。

ワニのツイスト

大型のワニは、水を飲みに来たウシやシカなどを待ち伏せして、水中に引きずり込んで食べます。一口で飲み込めないときは、全身を激しく回転させて、獲物の体をネジ切って食べます。これをワニのツイストとよんでいます。

爬虫類の進化

私たち哺乳類も、爬虫類から進化しました。爬虫類が最も栄えたのは、恐竜たちが地球を支配したジュラ紀から白亜紀(1億9500万年前~6500万年前)でした。



マタマタ

1994年版

24ところマップ



8 ウンビョウ
牙(犬歯)が異常に大きく長い。顔もネコみたいじゃないへんなビョウ。



9 オセロット
相変わらず仲のいい夫婦です。3番目の赤ちゃんもそろそろ?

41 オオウシ・オジロウシ
クマタカ 卵を抱いているかもしれません。そっと見守ってあげてください。

40 カバ
赤ちゃんカバかと思っていましたが、ナミコもずいぶん大きくなりました。1才7ヶ月です。顔つきも「カバ」になってきました。

39 キリン
メスのおなかをよく見てごらん。大きいはしゃぎも見えるかな。そろそろお祝いの用意をしなくちゃ。

38 アジアゾウ
5才になりました。たぶん日本一の長生きでしょう。歯が抜けてしまいましたが、まだまだ元気いっぱい。1日にバナナ10kg、サツマイモ10kg、リンゴ10kg、乾草10kg、ペレット10kg、お水3束を食べています。

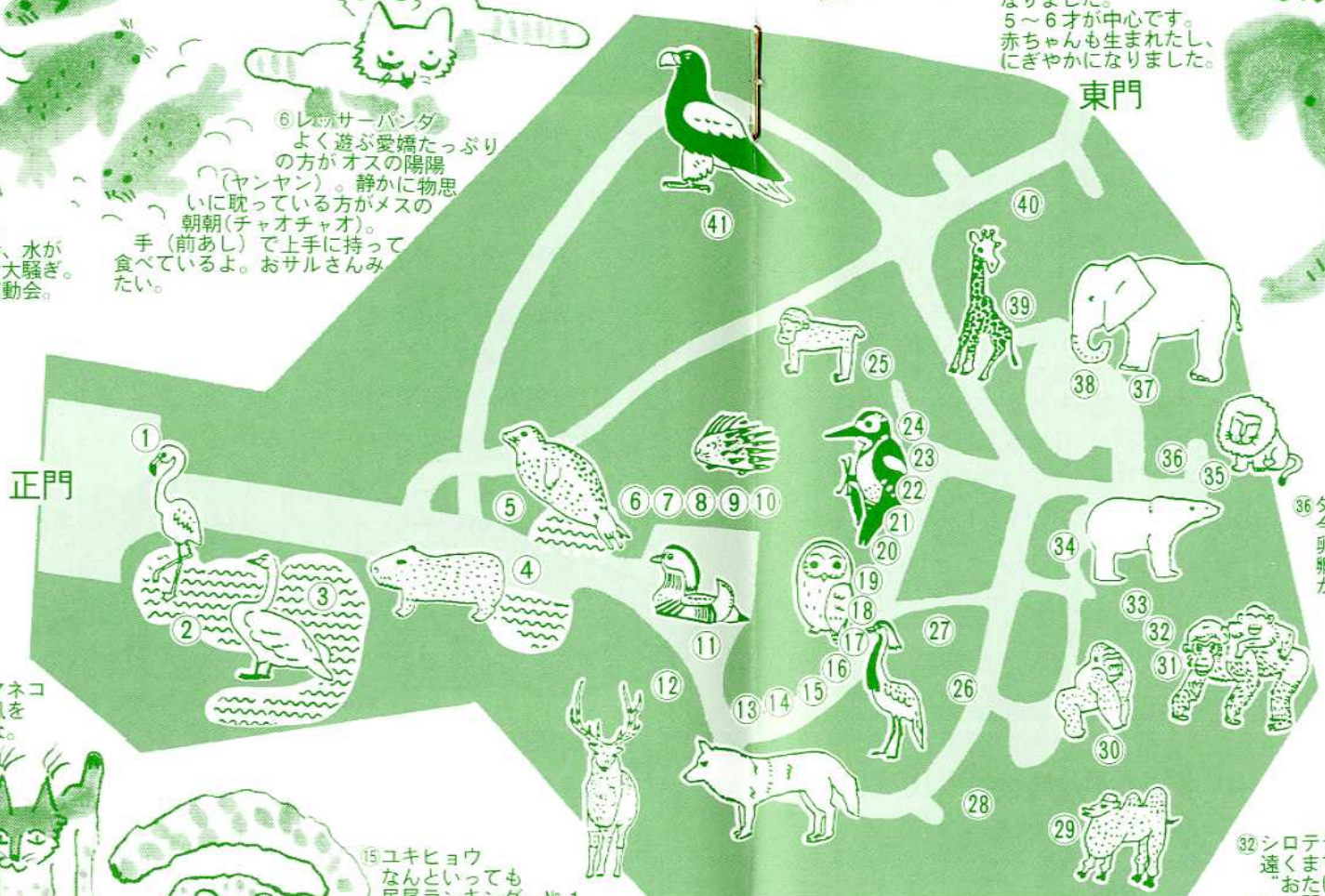
7 アカクビワラビー
赤ちゃんがお母さんの袋から顔を出したのは3月の末頃でした。ほら、もうこんなに大きくなって。

10 アフリカ
タテガミヤマアラシ 昼はポーとして、いることが多い。夕方はゴソゴソ、夜はランラン。

25 サル山(ニホンサル)
「群れ」も「大人」になりました。5~6才が中心です。赤ちゃんも生まれたし、にぎやかになりました。

5 ゴマフアザラン
プール掃除の時、水が少なくなるので大騒ぎ。もう、それは運動会。

6 レオサーバンダ
よく遊ぶ愛嬌たっぷりの方がオスの陽陽(ヤンヤン)。静かに物思いに耽っている方がメスの朝朝(チャオチャオ)。手(前あし)で上手に持って食べているよ。おサルさんみたい。



1 フラミンゴ
ペロ、ニイロフラミンゴ、ヨーロップフラミンゴの3種類、総勢24羽です。親子ではありません。



14 シベリアオオヤマネコ
耳の総毛でそよ風を感じているのかな。



2 クロエリハクチョウ
1993年11月24日に孵化したヒナも大きくなったね。

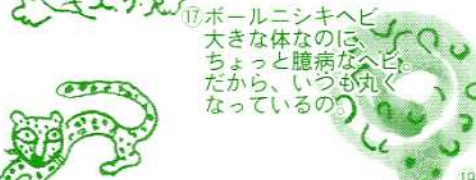


3 ガンヤカモ
あちこちで卵を抱いているよ。

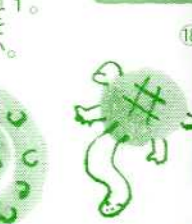


13 シベリアヒョウ
「さくら」はもう3才、りっぱな娘になりました。でも顔を見ると、まだあとけなさが残ってるね。

15 ユキヒョウ
なんといっても尻尾ランキンガーNo.1。こんなりっぱな尾を持った動物はいない。



17 ボールニシキヘビ
大きな体なのに、ちょっと臆病なヘビだから、いつも丸くなっているの。



19 ミシシッピーワニ
いつもはおとなしいけど、いざとなったらすごい。すんだ瞳はまるで「湖」のようだね。



20 シロフクロウ
真っ白なお父さんと、横縞模様のお母さん。今年もヒナがかえるといいね。



18 ニューギニア
ヘビクビガメ 変わったヘビだね。背負ってるよ。おかわりよ。顔の長いコメだよ。えーっ



22 キレンジャク
鈴の音のようなきれいな声で鳴いています。



23 エゾユキウサギ
真っ白な冬毛が抜けて茶色の毛が現れ、体がまだらになりました。全身きれいな茶色になるのは6月頃です。



24 エゾリス
朝と夕方、活動します。お昼には、巣箱の中でウトウト。



21 フクロウたち
北海道にすむ7種のフクロウを展示しています。



26 キジ舎
春は鳥の季節。特にキジのオスは今が旬。



32 シロテナガザル
遠くまで響く「おたけび」はいつ聞いても「ほれほれ」。



28 エゾシカ
6月には赤ちゃんがきつとね。



31 チンパンジー
キーボ(お父さん)が家族みんなに気をつかうので大変そう。



30 ゴリラ
ゴタの病気もどうやら回復しました。一時はどうなるかと思っただけ、野生の力って「すごい」!



29 フタコブラクダ
この季節はどうも身なりがボロボロで誤解されるけど、毛換わりの最中なので。



27 タンチョウ
よく見ると、とても大きな鳥なんだね。





動物園事情 -ストックスペース-

現在のニホンザルのリーダーは先日死亡した先代リーダー「雄一郎」の次男坊である。実は動物園で、このように親から子へと代替わりしている動物はあまりいない。というのは、飼育スペースの関係で、生まれた子はほとんど他の動物園に出されてしまい、親が死亡した時点で新たな個体を導入することが一般的だからだ。特に単独生活をする種類はほとんどそうなる。

親子や兄弟姉妹を同居させて飼育していると、近親交配の心配があるため、子を他の園館に出すことは特に悪いことではない。しかし、1種の動物に1つのスペースしか用意できないため、すぐに施設が満杯になり、飼育が不可能となって“余りものを出す”ように放出する傾向がみられることも現実だ。このような使い捨て飼育がいいはずはない。

この問題を解決するには、同じ種類の動物ばかり並んだ動物舎を見てもらえればいいのだが、実際にはそうもいかないのが、展示する飼育施設と、将来の繁殖を考えて動物をストックしておく飼育施設を持たなければならない。つまり、皆さんの目に触れないところにお金をかけなければならないことになる。そうしなければ「種の保存事業をしています」などと高らかに宣言することなどできないはずだ。将来の動物園を考えると、真剣に考えなければならない問題だと思う。

クロエリハクチョウの繁殖

クロエリハクチョウは南アメリカのアルゼンチンからチリーにかけてすんでいる中型のハクチョウです。その名のとおり、白いからだに黒い首、白と黒のはっきりとしたツートンカラーで細身のスタイル、くちばしと顔のまわりの赤もとてもよく目立ち、おしゃれな気品ある白鳥です。旭山動物園では1971年から飼育していますが、今回が初めての繁殖になります。

両親となったつがいは1986年11月22日に仙台市八木山動物公園からやってきました。それまでいたオスはどれも大人しく、エレガントな姿に似つかわしい性格でしたが、やってきたオスは気性が激しく、担当者にさえも平気で襲いかかってきます。こんなに気の荒いクロエリハクチョウは初めてで、「これでは繁殖どころか、きっと離婚だぞ」とさえ心配していました。

しかし、よく観察していると、厳しい性格は他の種に対して、特に人間に対してだけで、彼女にはことのほか優しいのです。「俺は体を張って敵からおまえを守ってやるぞ」と、そんな感じでした。

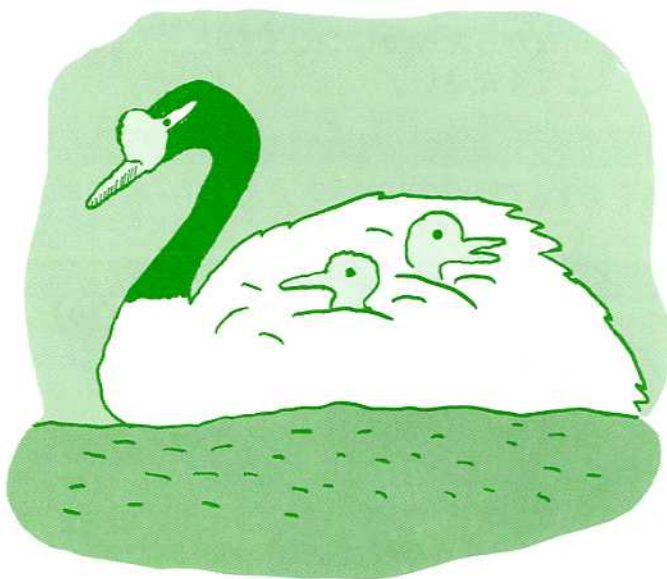
1993年10月の中旬、動物園もそろそろ閉園を迎えようとする秋真っ盛りの頃、彼女が草地を少しならして、巣らしきものを作り始めました。カモやガンなど、いや私たちが接している鳥たちの繁殖シーズンは“春”と決まっています。ですから彼女が本気で巣作りをしているとは思っていませんでした。でも彼らは南半球の鳥です。ひょっとして彼らにとっては今が“春”なのかもしれません。早速室内にワラをたっぷり入れた特別室を用意し、つがいに使ってもらうことにしました。つがいは懸命に巣作りを始め、3日後には卵を産み始めました。その後1日おきに産卵し、3個目を産んだ10月28日から抱卵に入りました。

42日後、5卵の内、3羽のヒナがかえりました。少しグレーがかった白い綿毛の可愛いヒナです。ピーピーと甲高い声の水禽舎に響きわたりました。季節外れのヒナの声に私ばかりでなく、他のハクチョウやカモたちも「なんか変だな」と感じていました。



彼らの子育ては一風変わっています。普通のハクチョウやカモの親は懐にヒナを抱いて育てますが、クロエリハクチョウは背中におんぶして育てるのです。その姿はとても愛らしく、母さんの背中の中の羽根の間から、小さな顔をだしてキョロキョロしたり、そのまま羽根の間にもぐって寝たり、何ともほほえましいものです。その“おんぶ式育児”行動はヒナがかなり大きくなってから見られ、3羽一緒に乗ってはとても無理だと思っても強引に登ろうとします。そんな姿を見ると「母親って大変だなあ」とひと事のように思ってしまう。

残念なことに3羽の内、2羽が死んでしまいました。今残った1羽のヒナは両親に大切に育てられています。4月末、動物園がオープンする頃には、もっと大きくなって、太陽の光をいっぱい浴びて元気に遊び回っていることでしょう。

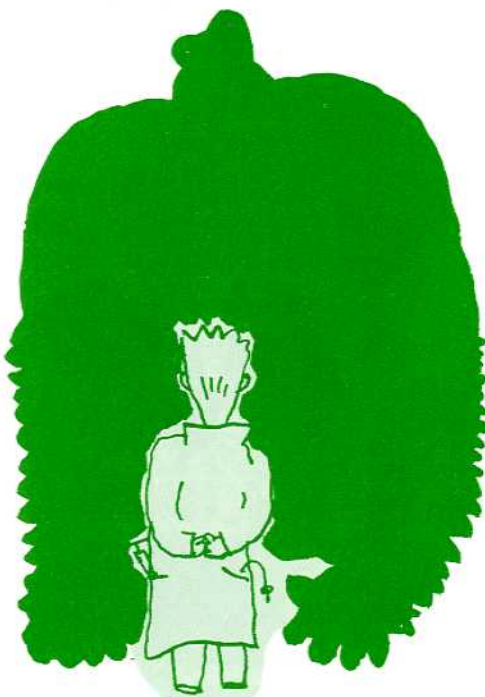


ゴンタの脳梗塞

ゴリラのゴンタが、去年の9月29日朝、倒れました。意識は完全になくならず、右の手足が麻痺し、ゴンタは何が起こったのか分からずに興奮状態でした。

この時は、これで後遺症もなく正常に戻ったように見えたのですが、1ヶ月後の10月20日に、倒れては起き上がるという発作を3回も繰り返しました。3回目の時に麻酔をかけて、血液が固まりにくくなる薬を注射し、治療しました。麻酔からなかなか覚めず、「もしかしたら・・・」という悪い予感がしましたが、次の日起きるだけは起きていましたが唇は垂れ下がり、右半身は麻痺していて自由になりませんでした。牛乳は口からこぼすし、右手で物を持つこともできません。人間の医者に相談したところ脳梗塞（正式には脳血管障害）と考えて間違いないとの事でした。血液が固まりにくくなる薬を一生飲み続けることになりました。性格もずいぶん弱気になり、飼育しやすくなりました。ところが、そのうちに麻痺がほんの少しづつよくなり、今年1月には、みるみる回復し、性格まで気むずかしいゴンタに戻ってしまいました。薬の副作用と思われる皮膚炎が出たため3日間薬を中止したら、3日目に小発作を起こしてしまいました。皮膚炎にはとりあえず目をつぶって、薬を継続することにしました。動物もこんな病気にかかるんだと、変に感心してしまいました。

Vet.News -動物病院から-





小さな疑問から大きな疑問まで、『げんちゃんの追球コーナー』へどんどんお送り下さい。採用させていただいた方には、旭山動物園特製「エゾシカの角のキーホルダー」をプレゼントいたします。

Q 北海道にもとから生息していなかった動物について教えてください。
旭川市 宮田 明美 さん



A 北海道に本来生息していなかったのに、何かの理由で持ち込まれて、生息域を広げていった「北海道に帰化した動物」はけっこういます。さっそく見ていきましょう。

イタチ：明治時代にネズミ退治の目的で、いわば生物農薬として持ち込まれました。ネズミだけを食べるはずもなく自然界に生息域を広げていきました。北海道にはイタチより小型のイタチの仲間イイズナ、オコジョがいますが、彼らの生活がイタチによって圧迫されたのは間違いがないでしょう。

ミンク：毛皮を採るために養殖していたものが逃げて野生化しました。旭川周辺は特に多く、ミンクのいない川はないくらいです。大雪山のふもとまで分布を広げています。明治時代に絶滅したカワウソの生息環境をそのまま受け継いだ形ですが、ミンクの活動範囲は広く、生態系に与える影響は大きいようです。

アライグマ・チョウセンシマリス：ペットとして飼われていたものが逃げたり、捨てられたりして野生化しています。アライグマは逞猛で危険です。手先が器用なため水辺から木の上までと生活域も広く、何でも食べるため、数が増えると大変なことになると思います。チョウセンシマリスは、在来種のエゾシマリスと交雑してしまうことが心配です。

コウライキジ・ヤマドリ：鉄砲による狩猟用に放されています。

ニジマス：溪流釣りのために毎年大量に放流されています。体も大きく、在来種の子アサギなどが捕食され、生態系には大きな影響があると思われる。

カブトムシ：15～20年くらい前から見られるようになりました。今では全道で見られますが、繁殖している場所は、おがくずなどが積まれている、きのこ農家や酪農家など人工的な環境に限られています。メロンを栽培している農家などには害虫として嫌われています。

ちょっと思いついただけでもこのくらいはいます。すべて人為的なものです。あまりにも安易に帰化動物を増やしているように思えます。可愛いとか、楽しいとか、自分たちの事だけを考えてはいけません。

クイズ

正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製「エゾシカのキーホルダー」が当たります。

応募方法 ハガキに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を書いて旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。

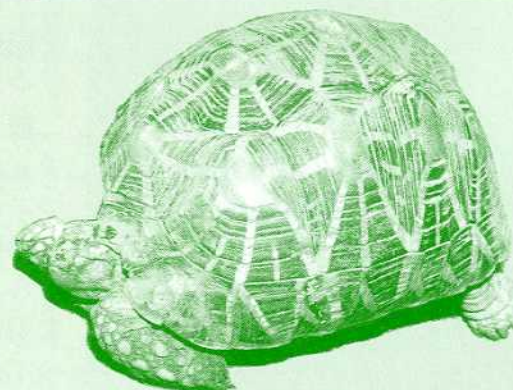
応募〆切 1994年5月31日

前号のこたえ

正解はグリーンイグアナでした。正解率は、83.3%でした。

キーホルダー当選者

旭川市 こうだ あつし 君
旭川市 岡田 ゆみ さん
旭川市 花田 由海 さん



ホシガメの鳴き声は次のうちの動物の鳴き声に近いでしょう



飼育日誌《平成6.2.1～平成6.4.1》

- 2.12 チンパンジー（♂キーボ）犬歯折れる
- 2.20 冬の動物園観察会
- 2.27 ZOOガイド「市役所研修同期会」
- 2.15 オオカミ 外耳炎治療
- 2.16 ボールニシキヘビにマダニ寄生 駆除
- 2.26 シロテテナガザル(ベ+カベ) ペアリング
- 3.5 研修 大田黒由美獣医師(1年間) ZOOガイド「陵雲小学校PTA」
- 3.6 冬の動物園観察会
- 3.9 ハイイロガン 断腿術
- 3.10 ZOOガイド「教育大附属幼稚園」
- 3.12 ZOOガイド「ガールスカウト24」
- 3.13 研修 北大獣医学部 福井大祐(～4.3) ZOOガイド「旭川市博物館」
- 3.15 オセロット 血液検査・ワクチン接種
ウンピョウ 血液検査・ワクチン接種
- 3.21 オオヤマネコ 血液検査・ワクチン接種
- 3.22 チンパンジー・サル 駆虫
- 3.23 エゾタヌキ 骨折手術

旭山公園ニュース

動物園の隣にある旭山公園について、すこしずつ紹介していきます。

大雪山の山脈がどんどん麓へ低くなって東旭川の盆地につき出した突端の丘が旭山公園で、旭山の頂きは海拔295m。

昭和38年に旭川市と東旭川町との合併にともない都市公園として開設されました。

天然林がよく保存されて、また旭川でもトップクラスの桜の名所で、毎年5月上旬、たくさんのお花見客で賑わいます。この時期は動物園のオープンとも重なり、山は人であふれます。

飼育動物数 (4月1日現在)

哺乳類 37種 122点
鳥類 90種 451点
爬虫類 11種 38点
合計 138種 611点



おしらせ

ワンポイントガイド

毎日曜、祭日の11時から飼育係が動物のお話をします。誰も知らない内緒の話も聞けそうです。

サマースクール

8月1～3日の3日間動物たちといっしょに過ごす動物園教室です。小学校5・6年生が参加できます。申し込みの受付は7月16日からです。

夏休み親子動物教室

日曜日連続4回コースで、生き物の不思議を追求します。夏休みを家族で楽しみましょう。申し込みが必要です。

ウォークラリー

正確な観察力と正しい知識で挑戦！動物クイズの決定版です。友だち同士、家族揃って楽しめます。動物園ならではの賞品を用意しています。6月12日と10月23日の2回行います。

夜の動物園

8月13～16日の4日間、午後9時まで開園しています。太陽のまぶしい昼間では見えない動物たちの夜の顔。寝ているもの。目が輝いているもの。動き回っているもの。

特別パネル展

動物資料展示館フロアに展示されています。写真やイラストで動物のいろいろを解説しています。第1回は、4月29日から「どうぶつえんのお医者さん」です。

児童動物画コンクール

4月～8月、幼児・児童を対象に募集しています。元気いっぱいの絵を描いて、応募して下さい。

ぬり絵展

動物園のパンフレットに折り込まれているぬり絵を動物園に送って下さい。8月に展示会を行います。



モユク・カムイの申し込み方法

1年分の送料として130円分の切手4回分を同封して、旭川市旭山動物園モユク・カムイ係までお申し込みください。

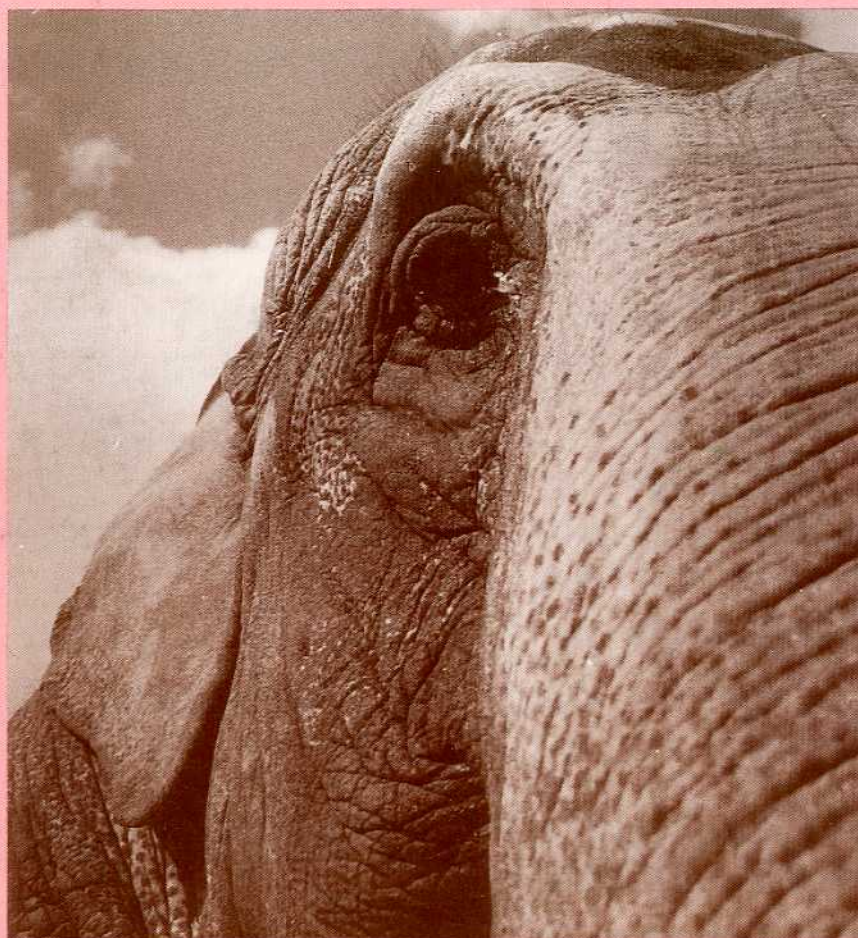
編集後記

ここ数年は、4月に入ると雪解け水が側溝を流れ、早いところではフキノトウが顔を出している斜面すら見かけました。動物園の開園準備も順調に進み、緑の芝生でお客さんの入場を待っている状況でした。

やはり楽なことは続かないもので、今年の春はいつになくゆっくりとしており、大量の雪はどっしりと腰を落ち着けています。

職員のおせる気持ちを横目に、動物たちは確実に温かくなってきている日差しをのんびりと楽しんでいる様子です。ゾウに雪運びを手伝ってもらいたいところですが、そうもいきません。

今年はブラザーモンキーとウンピョウが入園しました。新顔ですのでよろしくお願ひします。いずれも南日本から来園しましたので、気候の違いに戸惑うでしょうが、そのうち旭川になれてくれると思います。



アジアゾウ

モユクカムイ No.36 平成6年4月29日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
発行 菅野 浩 編集委員 小菅 正夫・阿部 寛・坂東 元
印刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653